

愛媛県伊方大川で採集されたテンジクカワアナゴ

山川宇宙¹・鎗田めぐ²・水野晃秀³・井藤大樹⁴・清水孝昭⁵

¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

²広島大学大学院統合生命科学研究科

³愛媛県立宇和島水産高等学校

⁴徳島県立博物館

⁵愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Eleotris fusca* テンジクカワアナゴ (TKPM-P 26395, 固定標本)

種の記録

Eleotridae カワアナゴ科

Eleotris fusca (Bloch and Schneider, 1801)

テンジクカワアナゴ (写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P26395)

1 個体, 標準体長 20.0 mm, 伊方大川 (愛媛県西宇和郡伊方町湊浦: 北緯 33 度 29 分 17 秒, 東経 132 度 21 分 17 秒), 1999 年 11 月 8 日, 水野晃秀採集。

種の特徴

上記標本は, 前鼻管の先端は上唇に達する, 尾柄最後部の体側に大きな黒色斑を有する, 眼下の横列孔器列数が 8 であり, 縦列孔器列 A を横断する 2 本の横列孔器列の間に 1 本の横列孔器列がある, 鰓蓋部の上下の孔器列が後方で接するなどの特徴から, 明仁ほか (2013) および前田 (2014) にしたがって, テンジクカワアナゴと同定された。

備考

本種はインドー太平洋に広く分布し (明仁ほか, 2013), 国内では小笠原諸島, および茨城県から琉球列島にかけて記録されている (明仁ほか, 2013; 小林ほか, 2022; 金子ほか, 2022)。四国では高知県から記録されているもの (大塚ほか, 2010; 明仁ほか, 2013), 愛媛県からは記録されていなかった。本報告は, 本種の標本に基づく愛媛県初記録になる。なお, 本種の成熟サイズは体長約 50 mm であり (Maeda et al., 2008), 標本個体は稚魚であると考えられた。同日に同種他個体が採集されなかったことや (水野, 未発表), 採集河川が流入する宇和海は黒潮に直接面していないことも踏まえると, 少なくとも標本が得られた

時点では, 本種は採集地点に定着していなかったと考えられる。

引用文献

明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次 (編), 日本産魚類検索: 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347–1608, 2109–2211.

金子誠也・山崎和哉・外山太一郎・大森健策・中嶋政明・加納光樹. 2022. 茨城県久慈川感潮域の魚類相. 茨城県自然博物館研究報告, (25): 27–40.

小林大純・山川宇宙・内田大貴・碧木健人・外山太一郎. 2022. 茨城県鹿島灘流入水域から得られたカワアナゴ属魚類 2 種, テンジクカワアナゴとチチブモドキ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 16: 5–10.

前田 健. 2014. テンジクカワアナゴ. 沖山宗雄 (編), 日本産稚魚図鑑 第二版. 東海大学出版会, 秦野. 1225–1226.

Maeda K, Yamasaki N, Kondo M, Tachihara K. 2008. Reproductive biology and early development of two species of sleeper, *Eleotris acanthopoma* and *Eleotris fusca* (Teleostei: Eleotridae). *Pacific Science*, 62 (3): 327–340.

大塚高雄・野村彩恵・杉村光俊. 2010. 四万十川の魚図鑑. いかだ社, 東京. 163pp.

(2023 年 2 月 20 日受付, 2023 年 2 月 21 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)

(Uchu Yamakawa, Meg Yarita, Kouki Mizuno, Taiki Ito and Takaaki Shimizu. 2023. Record of the sleeper *Eleotris fusca* from the Ikata-Okawa River in Ehime Prefecture, western Japan. NS Fieldnote, 23007)